

第5章 重点プロジェクト

第4章の施策のうち、次の項目を「重点プロジェクト」として重点的に取り組みます。
また、各プロジェクトの横断的取組として、「プラスチックの資源循環の取組強化」を位置付けます。

《横断的取組》

プラスチックの資源循環の取組強化

プロジェクト1 【ぶちエコやまぐち 3R + (ぶらす) 県民運動の推進】

- ◆ 3R + (ぶらす) 県民運動の推進による行動変容の促進
- ◆ プラスチックの資源循環・脱炭素化

プロジェクト2 【動静脈連携・高度化による資源循環の促進】

- ◆ 事業者間連携の推進
- ◆ 資源循環ビジネスの事業化の推進
- ◆ コンビナート等の地域特性を活かした脱炭素型資源循環システムの検討

プロジェクト3 【廃棄物の適正処理の推進】

- ◆ 排出事業者責任の徹底
- ◆ DX を活用した適正処理の監視体制の高度化・効率化
- ◆ 廃棄物処理に係る人材の育成・確保
- ◆ 公共関与による広域処理体制の確保

プロジェクト4 【海洋プラスチックごみ対策の強化】

- ◆ 海洋プラスチックごみ発生抑制対策の強化
- ◆ 海洋プラスチックごみの回収・再資源化の促進
- ◆ 普及啓発・環境教育の推進

プロジェクト5 【次代につながる広域連携の強化】

- ◆ 廃棄物処理の広域化
- ◆ 災害廃棄物処理の体制整備
- ◆ コンビナート等の地域特性を活かした脱炭素型資源循環システムの検討【再掲】

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

用語解説

資料編

プロジェクト2 動静脈連携・高度化による資源循環の促進

サーキュラーエコノミーへの移行に向けて、地域特性を活かしつつ、動脈産業と静脈産業を有機的に繋げる取組や、事業化に向けた再資源化処理の高度化への技術開発や施設整備などへの支援により、製品の設計・製造から消費、回収・再資源化に至るライフサイクル全体における徹底的な資源循環の促進を図ります。

【具体的な取組】

◆事業者間連携の推進

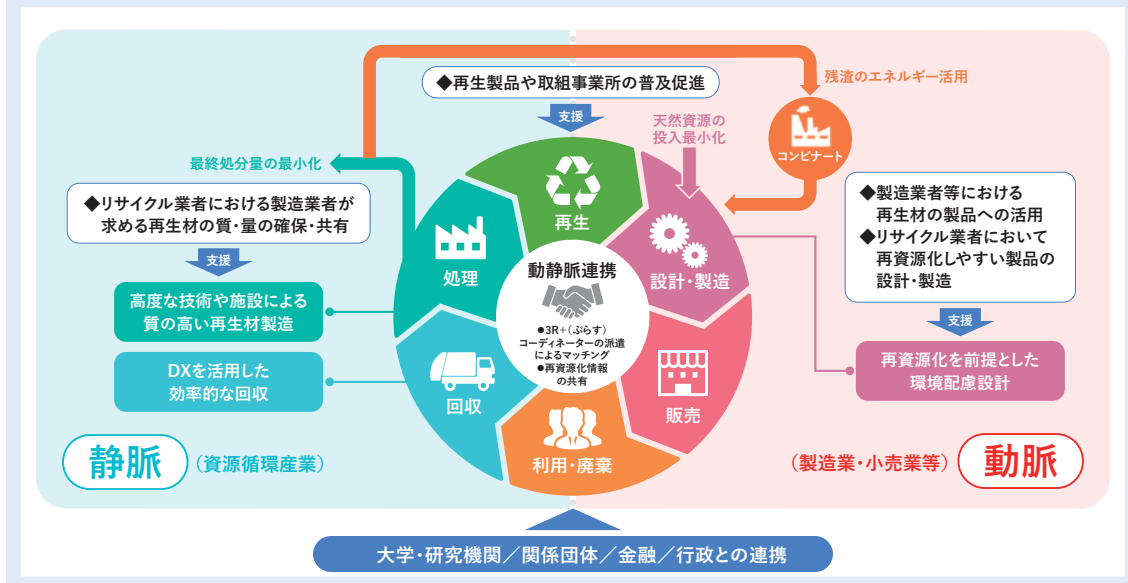
- 事業者への「3R + (ふらす) コーディネーター」の派遣による動静脈企業のマッチング・取組促進
- 再資源化に必要な再生材の種類・性状・量の情報、再生方法などの情報の共有

◆資源循環ビジネスの事業化の推進

- 製造段階における再資源化に向けた製品設計から、廃棄物処理やリサイクルにおける技術開発・事業化検討、普及拡大までの切れ目ない支援による、資源循環ビジネスの事業化の促進

◆コンビナート等の地域特性を活かした脱炭素型資源循環システムの検討

- 地域の循環資源を活かした脱炭素にも資する資源循環システムの検討



【関連する取組指標】

名称	現状 (R5)	目安 (R12)
3R + (ふらす) コーディネーターの派遣実績 (累計) [社]	—	100
資源循環に係る事業化支援件数 (累計) [件]	—	35
コンビナート連携によるカーボンニュートラル関連事業のプロジェクト化件数 [件]	2 (R4 年度)	6 (R9 年度)
山口県 3R + (ふらす) 認定製品数 (累計) [製品]	515	615
山口県 3R + (ふらす) 認定事業所数 (累計) [事業所]	82	100
プラスチックの再資源化率 (産業廃棄物) [%]	25.2	26

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

用語解説

資料編

プロジェクト3 廃棄物の適正処理の推進

廃棄物処理の見える化による排出者責任の徹底とともに、優良産廃処理業者等の育成支援、公共関与による広域処理体制の確保により、廃棄物の適正処理の推進を図ります。

【具体的な取組】

◆排出事業者責任の徹底

- 再資源化を含めた廃棄物処理の見える化にも資する電子 manifests の利用促進

◆DXを活用した適正処理の監視体制の高度化・効率化

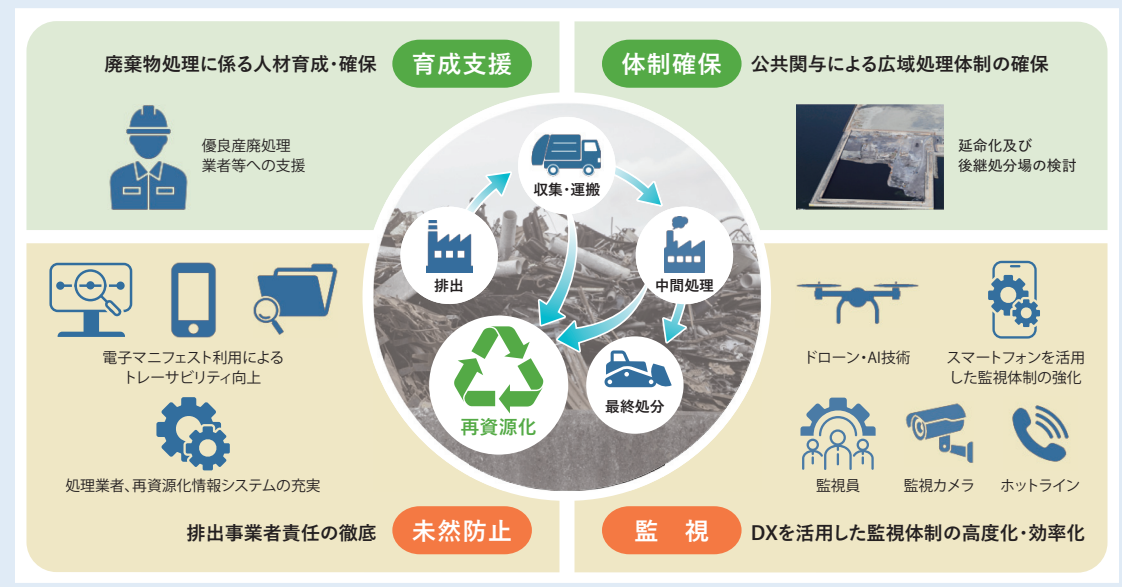
- IoT等を活用した不法投棄・不適正処理の未然防止・早期対応を実施
- 不適正処理が行われている事業所や保管場への監視・指導の強化

◆廃棄物処理に係る人材の育成・確保

- 優良産業廃棄物処理業者等に対する人材確保・育成に必要な支援等の実施

◆公共関与による広域処理体制の確保

- 広域最終処分場の延命化及び後継処分場の整備の検討



【関連する取組指標】

名称	現状 (R5)	目安 (R12)
電子 manifests の捕捉率 [%]	44.1	50
優良産廃処理業者認定割合 [%]	8.0	10

プロジェクト4 海洋プラスチックごみ対策の強化

海岸管理者、民間団体、ボランティア、市町等の各主体が連携・協働し、海洋プラスチックごみの発生抑制から、地域における回収・再資源化による資源循環に取り組むことにより、海洋プラスチックごみ対策を強化します。

【具体的な取組】

◆海洋プラスチックごみ発生抑制対策の強化

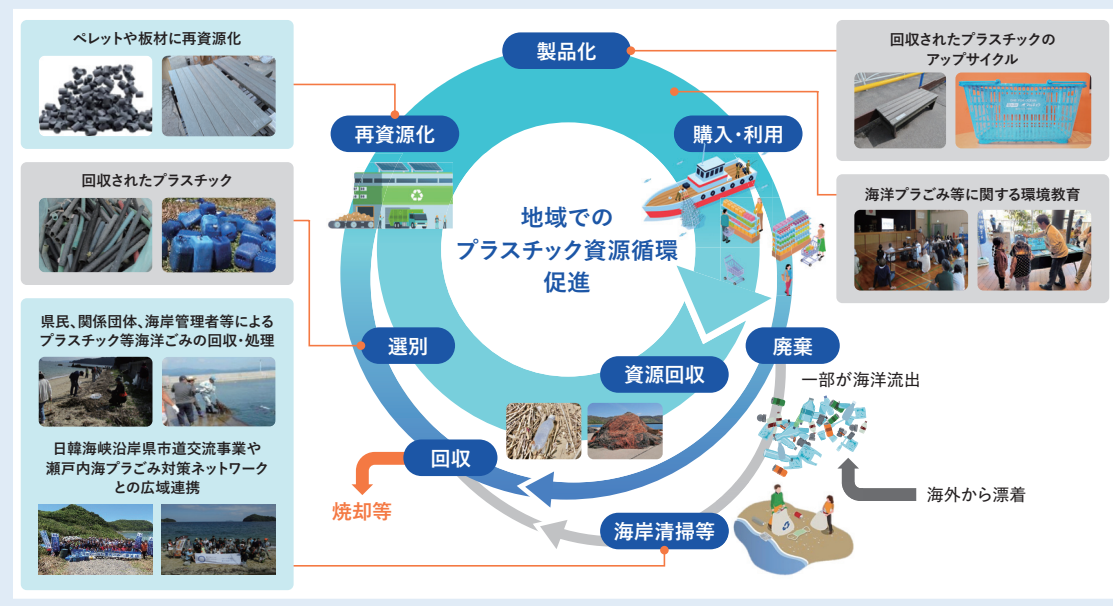
- 使い捨てなどされているプラスチックの使用抑制と再資源化の促進

◆海洋プラスチックごみの回収・再資源化の促進

- 日韓8県市道や瀬戸内海プラごみ対策ネットワークとの連携、山口県海岸漂着物対策推進協議会を中心とした情報共有と実践活動の展開
- 海洋プラスチックごみの再利用・アップサイクルへの取組促進

◆普及啓発・環境教育の推進

- 県民・事業者向け情報発信の強化や、プラスチックごみ等に関する環境教育の推進



【関連する取組指標】

名称	現状 (R5)	目安 (R12)
3R + (ふらす) イベント参加者数 (累計) [人] 【再掲】	—	5,000
河川・海岸清掃活動参加人数 [人]	87,176 (R4 年度)	90,000
プラスチックの再資源化率 (一般廃棄物) [%] 【再掲】	27.4	33
プラスチックの再資源化率 (産業廃棄物) [%] 【再掲】	25.2	26
やまぐちプラごみ削減取組店登録事業所数 (累計) [事業所] 【再掲】	144	265

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

用語解説

資料編

プロジェクト5 次代につながる広域連携の強化

地域課題や大規模災害、脱炭素化等に適切に対応していくため、廃棄物処理の広域連携等を強化し、持続可能な廃棄物の適正処理体制の確保を図ります。

【具体的な取組】

◆廃棄物処理の広域化

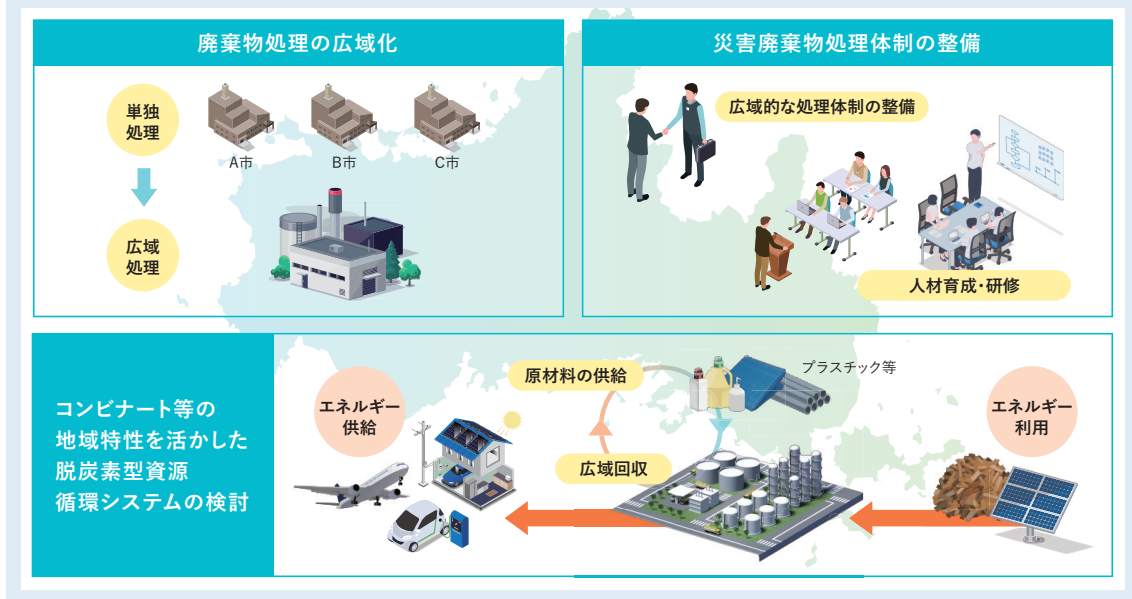
- 市町等と協議・調整のうえ、ごみ処理の長期的な広域化・集約化に係る計画を策定し、広域的なごみ処理体制の在り方を検討

◆災害廃棄物処理の体制整備

- 南海トラフ巨大地震被害想定の見直し等を踏まえた県災害廃棄物処理計画の改定
- 各市町と連携した災害対応研修等の実施

◆コンビナート等の地域特性を活かした脱炭素型資源循環システムの検討【再掲】

- 地域の循環資源を活かした脱炭素にも資する資源循環システムの検討



【関連する取組指標】

名称	現状 (R5)	目安 (R12)
災害廃棄物処理を想定した研修等への参加者数 (累計) [人]	—	250
コンビナート連携によるカーボンニュートラル関連事業のプロジェクト化件数 [件]【再掲】	2 (R4 年度)	6 (R9 年度)
プラスチックの再資源化率 (一般廃棄物) [%]【再掲】	27.4	33
プラスチックの再資源化率 (産業廃棄物) [%]【再掲】	25.2	26